

# 全国学力学習状況調査の結果

京都市立榎原小学校  
平成 26 年 9 月 12 日  
校長 北村朋彦

4 月 22 日に、本校 6 年生 133 名を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の 2 教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子ども達の状況をお伝えします。

## 総合結果（国語・算数）

国語も算数も全国・京都府と比べると本校の平均得点は、それを上回った結果でした。中でも算数 A と国語 B は、全国平均と比べて大きく上回り、自分の考えやそのわけを説明することに力を入れてきたことの成果があったかと喜んでいきます。「読書が好き」という児童も多く、合わせて自主的な学習（パワーアップ学習）の取組を続けていきたいと思ひます。

## 国語科について

全体的によくできています。特に、国語 B（主として活用）の詩の解釈（4 設問）や国語 A（主として知識）の文のつながりや情景描写について正答率が高く、問題文をよく読んで、その場面のようなすをイメージして答えていることが分かります。

正答率が低かったのは、漢字の読み「勢い」や故事「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」の 3 問です。辞典を開いて、自分で漢字の使い方や意味を調べたり、ことわざ辞典を活用したりする習慣をつけることが必要ですね。



## 算数科について

全体的によくできています。算数 B（主として活用）の記述問題（わけを書くなど）が大きく全国平均を上回っていました。算数 A（主として知識）では、文章題の式と答えを書く設問（「部屋の 1 m<sup>2</sup>あたりの人数を求めましょう」など）が全国より 13 ポイントも上回っていました。学習の中で一人一人が解き方や考え方にこだわって学習を進めていることが表れています。

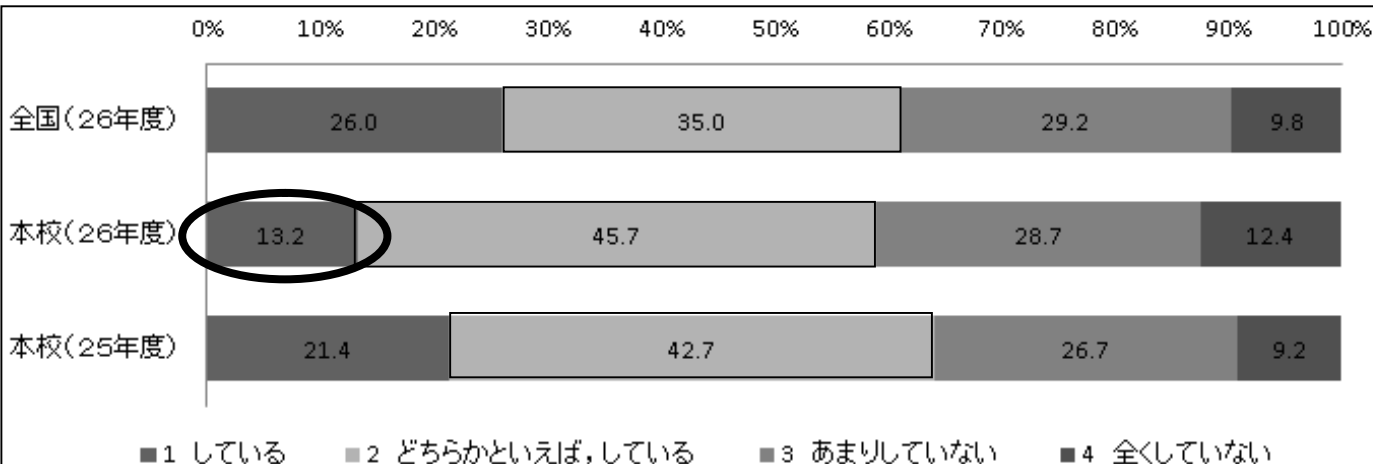


## 児童質問紙調査から

設問（21）家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

本校の結果 1・・・13.2% 2・・・45.7%  
3・・・28.7% 4・・・12.4%

「家で計画を立てて勉強している」と答えた児童は、全国と府の割合を大きく下回りました。「どちらかといえば・・・」を含めると 6 割ほどになるのですが、自信を持って「計画を立てて勉強している」と答えていないのは、学習を積極的に進めている児童が少ないことを表していると思ひます。昨年度の結果を下回っているのも大変残念なところす。

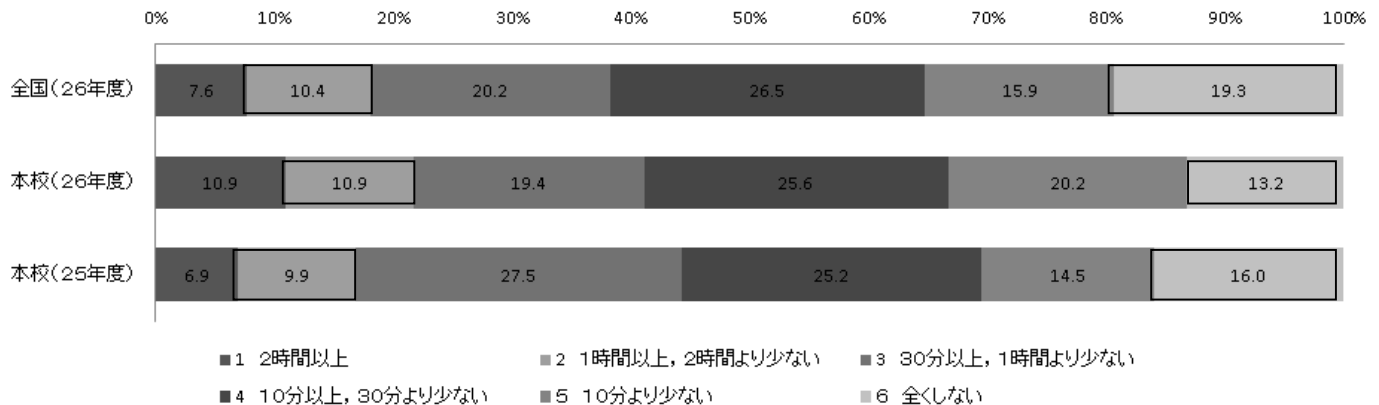


## 児童質問紙調査から

設問（１７）学校の授業以外に、普段（月～金）、１日当たりどれぐらいの、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

本校の結果 １・・・10.9％ ２・・・10.9％ ３・・・19.4％ ４・・・25.6％ ５・・・20.2％ ６・・・13.2％

本校の読書時間の回答では、約 85％の児童が、少なくとも毎日本を読む習慣があるというとても好ましい結果が出ています。全国より、また昨年度の 6 年生と比べても読書時間が増えていることが分かりました。年 3 回の読書週間の取組や読書サークル「木いちご」さんの熱心な読み聞かせなどが、本好きの子を育てているのだと思います。続けて取り組みを進めていきたいです。



## 全体を通した本校の成果と課題

本校では、「心豊かで 自ら求め 学び合う 樫原の子」という学校教育目標を掲げ、地域の皆様や保護者の方の協力を得て、教職員一丸となって取組を進めています。

その中の「自ら求め学び合う」が具体的に目指すことは、学習を自分のものとして自主的に取り組む姿勢を育てることです。教員の研究課題として、「みんなで考え」、「どの子も分かる」学習の進め方について研修を深めています。その中で、例えば算数では、どんな解き方が「はやく・かんたんに・せいかくに」解けるかをみんなで考え合って導き出すなど数学的思考力を育てる授業を構成していこうとしています。ほかの教科についても課題を立てたり、めあてを持ったりすることを教師は支援する立場になり、自主的な学習になるようバックアップしていこうともしています。

また、学習を自分のものにするために「パワーアップ学習」と名付けて自主的な学習ができるよう全学年で取り組んでいます。中学生になっても自分のために自ら学習できるよう予習・復習の方法を身に付け、進んで学習することを最終目標としています。

読書については、「読書が好き」と回答した児童が多く、読書の時間が多い児童も多いので、本校での年に 3 回の読書週間や読書サークル「木いちご」の読み聞かせの事業などが、読書好きの児童を増やしているのではないかと推測できます。重ねてテレビゲームやテレビ視聴の時間が他府県と比べて少なかったことも読書に使う時間が多い事実を裏付けています。読書は、学力の土台を作るものです。このままよい読書生活を続けてほしいと思います。

しかしながら、新聞を読む習慣があまり身に付いていないという結果が出ており、言語活動を充実していくためにも新聞を読む習慣を付けるようにしていくことが必要だと思います。ご家庭では、大人が新聞を読む隣りで、新聞内容について話題にし、世の中の動きや文化などに興味を持てるような環境を作っていただくことも大切かと思われます。読書好きの子ども達が新聞も好きになることは難しいことではないかもしれません。今回の調査で出た結果を踏まえて学校でも、意図的な働きかけを計画的に進めていきます。

「心豊かで 自ら求め 学び合う樫原の子」になるよう続けて努力していきます。

## 保護者の皆様へ

全国学力調査は、子ども達の学習状況を知り、子ども達の可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりするためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、これまでの調査と比べて確実に伸びており、ご家庭の子どもに対する積極的なかわりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子ども達の健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。